

笑顔でつなく、未来へつなく 職場リレーの女子駅伝 有限会社伸和环境

職場リレーの第八走者は、有限会社 伸和环境（代表取締役 長内 正氏 小牧市久保一色 3458-1）の同社取締役 橋本万里子氏です。平成10年創業、現在、愛知・岐阜・三重において産業廃棄物の収集・運搬・中間処理、一般廃棄物処理業を行っています。「こんなとき、あんなとき。伸和环境にお任せください！」をコンセプトに、オフィス内で大量に発生する紙ごみ、飲食店・事業所からの生ごみ他、一般家庭の片付けでの困りごと（女性では重たくて運べない物があるときなど。）にも親切対応、不用品や家電の処分について、地域に根付いたサービスから資源循環型社会構築に向けて、女性に配慮した働き方を自ら実践されている橋本取締役にお話を伺いました。

★自己紹介をお願いします。

橋本：勤続14年です。入社当初は事務業務を担当、日報の整理、マニュアル処理他の社内業務を一通り経験しました。外部交渉は顧客様への集金業務から始まり、接客の経験を積み、営業として販路拡大に力を注ぎました。また、現場作業にも従事し、労務、総務等の社内業務の隅々まで時間のあまる限り実践を積みました。

★入社後、多くの部署を経験されていますね。

橋本：二代目を継ぐということもあり、会社全体がどのような動きをしているのか知る必要があると感じました。仕事内容はそれぞれ違いますが、携わっている社員の個々の気持ちを理解する、ということが大事であると思っています。それは管理者となった場合、各作業において指導する際、欠かすことができないからです。今は全般の管理業務で



取締役 橋本万里子氏



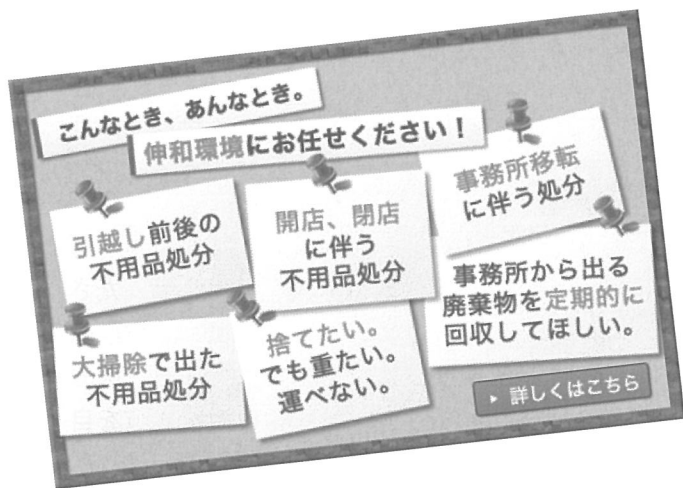
左から、橋本取締役、山田 樹さん、中村 美希さん、長谷川さん、長縄 英里さん

すが、繁忙期は現場へも出向きますし、営業が忙しくなればいつでも協力できる体制を取っています。私がフレキシブルに動くことで労務管理者としても、就業環境を確認することも、社員の安全衛生環境を把握することができます。

★働く女性として心境をお聞かせください。

橋本：最近この業界も女性ドライバーが増えてきています。男性社会と言われてきた業界ですが、このような傾向にあることは、女性としてうれしいです。作業量も男性と同じ量をこなしますので、男性のみの仕事ではないということが言えます。

弊社の女性ドライバーは、取引先から廃棄物の回収のみではなく、それに伴い出たごみ、通路のごみも掃き掃除をします。もちろん、男性のドライバーも取引先でのマナーには細心の注意を払って作業を行っています。そういった姿勢が評価を受け、お客様から感謝の電話連絡をいただいた時、お礼の言葉を直接聞いた時、取引先で冷たい飲み物を振る舞われた時など、感謝と同時に全員が仕事へのやり甲斐をととても感じ、達成感が得られます。その繰り返しが、プラスのスパイラルとして良い方向に向かっていくのではないかと思います。



★社員教育に何かコツはありますか。

橋本:特別な教育はしていませんが、弊社の社長（長内正代表取締役）の仕事への取り組みが、社員の鑑となっています。例えば、新入社員は社長と行動を共にし、取引先で廃棄物の回収の際の社長の行い、処分場においては社長自ら選別を行うなど、全ての事を社長から学び、意識を高めています。

社長は自ら動く事が自然体なので、決して人に無理強いはしません。長年勤めている社員は、自然にその行動に感化され、それが当たり前となり社員に徐々に浸透していった結果が、自ら行動する社風となっていったのではないかと思います。

～営業 長谷川仁美氏から～

営業を始めて数年ですが、昨今、産廃の適正処理が求められておりますので、難解な法令の理解については、会社からサポートがありますので安心です。分からないことは丁寧に教えてくれる、物事をうやむやにしない、必ず返答がある、という会社のスタンスに信頼が置き、営業に出て行っても自信を持って話ができます。また、何事においても一人で判断せず、社長や万里子さんに相談をして、弊社にしかできないサービスを心掛け、お客様に喜ばれ



営業 長谷川仁美氏

る仕事を心掛けております。

以前は弊社の事務職に就いていましたが、社長の推薦もあり営業を担当することになりました。私の話好きという個性を見出して下さったので、今は営業が天職であると感じ感謝しています。

社員間のコミュニケーションは、福利厚生が充実していますので、社員旅行、季節ごとの食事会、提携施設でのスポーツなどを通じて親睦を図り、家族連れでも楽しめるような会社の配慮があります。

★最後に次の企業さんへのメッセージをお願いします。

次の企業さんは、「(有) 愛知環境センター」がアンカーだと伺いました。代表取締役の東久保真弓さんは同じ尾張北支部であり、とてもお世話になっております。東久保さんは愛産協の初の女性理事に就任され、大変業界に貢献されています。今後も社会における女性の働き方、地位の向上について、全国的に活躍されることを期待しております。

(橋本氏談)

橋本氏は、あえて子育て世代の女性を積極的に採用されています。それはご自身がそうであることと、家庭の行事で欠勤しても、その補填を必ず業務時間内に処理をすることができる、社員の能力の高さを知っているからです。その力を発揮させている橋本氏の女性経営者としての手腕は、長内社長の影響が多大であると感じました。

取材日は春爛漫の桜の季節、集合写真の背景の窓には満開の桜が咲き誇っていました。お忙しい中、取材にご対応いただきありがとうございます。